

2014年4月活動報告

日時	2014年4月22日 11時30分～14時30分まで
場所	東京おもちゃ美術館（新宿区四谷ひろば内） http://www.goodtoy.org/ttm/
参加	ウィメンズクラブ会員 6名
内容	<p>テーマ:「今を生きる」—おもちゃは大人も楽しい! 大人にも有用!</p> <p>東京おもちゃ美術館は、NPO 法人日本グッド・トイ委員会が運営する施設で、新宿区にある旧四谷小学校（昭和10年ドイツ人建築家によって建てられた歴史的建築遺産）の校舎を利用して作られています。おもちゃに触れて遊べる体験型のミュージアムとして「遊ぶ」「作る」「出会う（おもちゃでつながる）」をコンセプトに、毎年選定されるグッド・トイの展示や、国内外のおもちゃ、伝統おもちゃ、科学おもちゃ、ゲームで遊ぶ、木の砂場・木の森、工房、赤ちゃんのための木育ひろばなどで構成されています。スタッフの方のお話では展示されているおもちゃを手に取り・触れ・動かして・遊んでいると子どもたちがそれまで考えても見なかった遊び方を示してくれることがあり、それがまた新しいおもちゃの創造や遊び方につながるとの事です。</p> <p>オークヴィレッジの木のおもちゃも展示されており、稲本正先生の授業を受けた会員にはまた新たな出会いとなりました。</p> <p>丁度、伝統遊びコーナーでは、ボランティアさんが、「廃れていく日本の伝統遊びを何とか未来に残して行くのもシニアの役割」と仰って、お手玉と竹籠なげを教えておられました。懐かしくなった私たちも思わず子どもの頃に帰り、手に取って教えて頂きました。ここでは「遊びの案内人」として活動するボランティア「おもちゃ学芸員」養成の他に、要介護高齢者のQOLを高める専門家（アクティビティインストラクター・ディレクター）の養成も行われ、シニアの活動の幅が広がられています。手足の機能障害のリハビリにも、また、認知症の方の緊張を和らげる手段としても、おもちゃの効能は計り知れないものがあるようです。</p> <p>見学を終えて帰る頃、「今度は孫を連れて来ましょう」「周囲のお母さんたちにこの美術館をもっと教えてあげたい」「この木の森の中で一人読書をするのも良いわね」と気分はすっかりハイとなりました。きっと夫々に、それまで気づかなかった感動や楽しさに満たされたからでしょう。</p> <p style="text-align: right;">北澤 記</p>

